

共通する社会的背景

【高齢化】

担い手の多くが高齢者
・農業68%
・林業21%
(65歳以上の割合(H27))

【人口減少】

・進学・就職を契機とした若者の転出
・出生数減少による少子化

【担い手の減少】

・農業約73%減 林業約35%減
(1980年 2015年比)
・貴金属・宝石製品製造業
約60%減
(1996年 2014年比)

【新たな対応】

・新技術の導入(AI,IoT等)
・海外も視野に入れた販売戦略
・高品質化、ブランド化

【各分野ごとの課題】

【林業(森林環境部)】

・新たな森林管理システムを支える担い手の確保・育成
・高性能林業機械導入等による生産性向上
・県産材のブランド化と需要拡大

【農業(農政部)】

・戦略的マーケティングによる販路拡大
・生産の効率化、高付加価値化の推進
・耕作放棄地の解消、農地の有効活用
・成長産業化を支える担い手の育成

【製造業(産業労働部)】

・企業が求める人材の育成体制の強化
・人材確保・マッチング支援の強化

【成長の可能性を持つ強み】

< 林業 >

・資源が充実し人工林面積の約50%が収穫期
77.4千ha(51年生以上の人工林面積)
・FSC森林管理認証面積は全国トップ
143千ha(全国の36%を占める)

< 農業 >

・10a当たり農業生産所得の高さ
190千円(全国1位)、全国平均85千円(H28)
・大きな収入源となる新品種等の開発
モモ「夢みずき」、新魚「富士の介」など

< 製造業 >

・製造業集積の進展
製造業の特化係数1.8 (全国 1.0)
・地場産業が有する高度な技術
ジュエリー、ワイン、織物、印伝、和紙、印章など